

事業群評価調書(令和元年度実施)

基本戦略名	10 にぎわいと暮らしを支える社会基盤を整備する	事業群主管所属	土木部道路建設課
施策名	(1) 九州新幹線西九州ルートなどの人流・物流を支える交通ネットワークの確立	課(室)長名	馬場 一孝
事業群名	③ 生活に密着した道路の整備による道路ネットワークの拡充	事業群関係課(室)	

1. 計画等概要

(長崎県総合計画チャレンジ2020 本文) 昨今の道路整備には、異常気象や少子高齢化、さらには、道路構造物の老朽化など多様な対応が求められています。このため、県民の安全で安心かつ快適な暮らしを確保する国県道の整備や防災対策、交通安全対策、交通円滑化対策、沿道環境・景観対策、長寿命化対策など生活に密着した道路整備を計画的に推進します。							(取組項目) i) 国県道の整備促進			
事業群	指標		基準年	H28	H29	H30	R元	R2	最終目標(年度)	(進捗状況の分析) 公共事業、単独事業ともに早期に事業の効果を発現できるように部分的な供用開始に努めており、H30年度までの供用延長は目標を上回る結果となっている。
	国県道の供用延長(累計)		目標値①	6.1km	9.2km	15.7km	29.5km	37.3km	37.3km (R2)	
			実績値②	—	7.1km	12.8km	16.4km		進捗状況	
		②/① (達成率)		116%	139%	104%			順調	

2. 平成30年度取組実績(令和元年度新規・補正は参考記載)

事業番号	取組項目	事務事業名 所管課(室)名	事業期間	事業費(単位:千円)			事業対象	事業概要 平成30年度事業の実施状況 (令和元年度新規・補正事業は事業内容)	指標(上段:活動指標、下段:成果指標)				平成30年度事業の成果等	中核事業		
				H29実績	H30実績	R元計画			うち一般財源	人件費(参考)	指標	主な目標			H29目標	H29実績
1	取組項目 i	道路整備事業(公共)	H28-R2	12,109,556	252	—	道路利用者	「地域をつなぐ道路ネットワークの整備」のため、国県道の整備を国庫補助金で実施した。	活動指標	事業箇所数(箇所)	H29目標	48	48	100%	●事業の成果 ・平成30年度は各工区において、工事推進を図り、(主)佐々鹿町江迎線(志方～黒石)や(一)志方江迎線(東岩崎)供用開始を行った。しかし、一部工区において、用地取得の遅延により工事着手が遅れ工事進捗を測ることが出来ず、目標値を下回る結果となった。 ●事業群の目標(指標達成)への寄与と本事業に必要な予算の確保を行い、指標目標値に向けて工事推進を図っている。	○
				9,038,063	191	—					H29実績	56	56	100%		
		11,080,244	185	—	H30実績	57										
		道路建設課						成果指標	整備延長(km)	H29目標	5.9	5.4	91%			
										H30目標	7.3	2.7	36%			
										R元目標	7.0					
2		道路整備事業(単独)	H28-R2	2,415,846	350	91,842	道路利用者	「地域をつなぐ道路ネットワークの整備」のため、国県道の整備のうち、短区間の視距改良や路肩拡幅等の小規模な整備を県単独事業で実施した。	活動指標	整備延長(km)	H29目標	0.6	0.4	66%	●事業の成果 ・(一)荒牧尾登線(門山工区)や(一)深堀三和線(深堀工区)など、一部供用開始を行い幅員狭小箇所や線形不良箇所が解消された。 ・交通支障箇所数については、地元調整に時間を要し、工事の進捗が図れない箇所があったため、達成率が低い結果となった。	
				2,113,664	143	79,927					H29実績	0.2	0.9	450%		
		2,430,502	479	71,633	H30実績	0.4										
		道路建設課						成果指標	交通支障箇所数の解消(箇所)	H29目標	22	12	54%			
										H30目標	22	10	45%			
										R元目標	9					

3	取組項目 i	道路改良調査費	H28-R2	3,511	3,511	1,728	道路利用者 今後の新規事業箇所において、必要性の整理やルート検討、現地調査等を行うことで、計画的な整備を行うとともに、事業化後の問題点解消を図った。 また、供用開始した道路において交通量調査等を実施し、整備効果の検討を行った。	活動指標 事業箇所数(箇所)	4	3	75%	●事業の成果 ・他事業や関係機関との調整が済んだ箇所について、新規箇所の事業化を図ることができた。
				31,195	31,195	531			2	2	100%	
		道路建設課		0	0	0			0			
4	取組項目 i	みちづくりスクラム事業費	H27-	11	11	0	道路利用者(対馬市) 重要な幹線道路ネットワークのうち、代替となる市町道の整備を支援することで、地域振興や防災機能向上等を支援した。	活動指標 事業箇所数(箇所)	1	1	100%	●事業の成果 ・H30年度は、起点側の工事を推進した。
				258	258	0			1	1	100%	
		道路建設課		982	982	0		成果指標 道路進捗率(%)	6.1	6	98%	
									7.3	7.3	100%	
									7.6			

3. 実績の検証及び解決すべき課題と解決に向けた方向性

i) 国県道の整備促進

○道路整備事業(公共・単独)、道路改良調査

・公共事業、単独事業とも必要な予算確保に努め、早期に効果が発揮できるように一部供用開始を行っている。しかし、用地取得や地元調整に時間を要したことから、工事進捗が図れず目標値を下回る結果となった。このため、今後も必要な予算確保に努めるとともに、用地取得を行い、工事進捗を図っていくよう事業管理を徹底する。

・道路改良調査については、地元調整が整わなかった箇所について変更となったが、道路整備が全国に比べて遅れている状況であり、今後も計画的な新規事業化が必要不可欠であることから、引き続き調査を実施し事業の必要性や整備の優先順位を行なっていく。

○みちづくりスクラム事業費

・平成29年度から工事に着手しており、今後は工事推進のために必要な予算の確保が課題であることから、補正予算及びR2要望にて積極的に要望できるよう対馬市に指導を行っていく。

4. 令和元年度見直し内容及び令和2年度実施に向けた方向性

事業番号	取組項目	事務事業名	令和元年度事業の実施にあたり見直し内容 (令和元年度の新たな取組は「R元新規」等と記載、見直しが無い場合は「-」と記載)	令和2年度事業の実施に向けた方向性		
				事業構築の視点	見直しの方向	見直し区分
2		道路整備事業(単独)	市町と連携し事業用地の取得に取り組み、用地取得状況を勘案しながら全体的な整備の優先順位を精査し、道路整備を推進する。	①	交通支障箇所はまだ多く存在しているが、事業を計画的に推進していくには市町の協力も重要となってくるため今年度から試行として市町と連携した事業用地の取得に取り組み、市町と一体となって事業推進を図っていく。	改善
3	取組項目 i	道路改良調査費	—	①	道路整備が全国に比べて遅れている状況であり、今後も計画的な新規事業化が必要不可欠であることから、事業の必要性検討や整備の優先順位検討を行っていく。	現状維持
4		みちづくりスクラム事業費	—	⑤	工事推進のために必要な予算の確保が課題であることから、補正予算及びR2要望にて積極的に要望できるよう対馬市に指導を行っていく。	現状維持

注:「2.平成30年度取組実績」に記載している事業のうち、平成30年度終了事業、100%国庫事業などで県の裁量の余地がない事業、公共事業評価対象事業、研究事業評価対象事業、指定管理者制度導入施設評価対象事業については、記載対象外としています。

【事業構築の視点】

- ① 視点① 事業群としての成果目標に対し、特に効果が高い事業の見極め、事業の選択と集中ができていないか。
- ② 視点② 指標の進捗状況に応じて、その要因分析及びさらに高い効果を出すための工夫、目標に近づけるための工夫を検討・実施できているか。
- ③ 視点③ 人員・予算を最大限効果的に活用するための事務・事業の廃止・見直しができているか。
- ④ 視点④ 政策間連携により事業効果が高められないか。事業群としてリーダーの明確化、関係課の役割分担・協力関係の整理ができているか。
- ⑤ 視点⑤ 県と市町の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
- ⑥ 視点⑥ 県と民間の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
- ⑦ 視点⑦ 戦略的に関係者の行動を引き出せているか。
- ⑧ 視点⑧ 国制度等の最大限の活用が図られているか。国へ政策提案(制度改正要望)する必要はないか。
- ⑨ 視点⑨ 経済情勢等、環境の変化に対応した効果的・適切な見直しとなっているか。
- ⑩ その他の視点